



## 2022年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月13日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス

上場取引所 東

コード番号 3177 URL <http://www.arigatou-s.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井本 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 志岐 雄一

TEL 0898-23-2243

四半期報告書提出予定日 2021年7月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第1四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	2,228	12.1	135		165		107	
2021年2月期第1四半期	1,988	7.6	6		4		14	

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 121百万円 ( %) 2021年2月期第1四半期 11百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	117.18	
2021年2月期第1四半期	15.65	

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	4,917	1,971	39.6
2021年2月期	4,992	1,932	38.4

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 1,949百万円 2021年2月期 1,916百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期				90.00	90.00
2022年2月期					
2022年2月期(予想)				92.00	92.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,275	4.9	90	69.3	170	33.5	75	17.8	81.60
通期	8,778	3.8	217	8.0	358	8.2	163	11.3	177.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期1Q	953,600 株	2021年2月期	953,600 株
期末自己株式数	2022年2月期1Q	34,310 株	2021年2月期	34,310 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期1Q	919,290 株	2021年2月期1Q	919,290 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、コロナワクチンが開発されその接種も進んではいますが、いまだに新型コロナウイルスの実体経済への影響はあり、先行き不透明な状況が続くと予想されています。

こうした状況のもと当社グループでは、フードサービス事業のモスバーガー事業の人材育成、リユース事業の九州エリア新規出店を支える体制づくりに取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間は、4月に業態変更のためフードサービス事業1店舗、5月に店舗移転のためリユース事業3店舗をそれぞれ6月以降に開店すべく先行的に閉店しております。

この結果、当社グループの店舗数はリユース事業93店舗、フードサービス事業28店舗、その他9店舗、合計130店舗となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,228,739千円（対前年同四半期比12.1%増）、営業利益135,259千円（前年同四半期は営業損失6,742千円）、経常利益165,122千円（前年同四半期は経常損失4,805千円）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は107,719千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失14,385千円）となりました。

当第1四半期では、通常に近い営業時間で営業でき、またコストコントロール努力の効果も出たことが要因で、売上高、利益ともに回復基調となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと次のとおりであります。

#### (リユース事業)

ハードオフ事業・ブックオフ事業では、ハードオフ本部・ブックオフ本部の経営理念を現場で行動に移すことのできる人材育成と海外供給センター事業の拠点の再構築に取り組ましました。

この結果、売上高1,586,450千円（対前年同四半期比11.0%増）、セグメント利益（営業利益）216,129千円（同41.2%増）となりました。

#### (フードサービス事業)

好調なモスバーガー事業をより安定させるため、パートナーリーダーの育成に取り組ましました。新型コロナウイルス感染の影響の受けやすいアルコール類を提供する店舗では、コストを柔軟にコントロールできる体制づくりを行いました。

この結果、売上高573,619千円（対前年同四半期比8.0%増）、セグメント利益（営業利益）43,719千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）32,246千円）となりました。

#### (その他)

前期に新型コロナウイルス感染拡大防止のために休業した施設、および、前期中に営業を開始した施設が売上高増加に寄与しております。経費面では人件費等が増加した結果、売上高68,668千円（対前年同四半期比149.5%増）、セグメント損失（営業損失）28,320千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）19,711千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて79,535千円減少し、2,405,310千円となりました。現金及び預金が金融機関からの借入金の返済等により107,528千円減少したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3,855千円増加し、2,511,869千円となりました。有形固定資産が24,354千円増加し、投資その他の資産が18,726千円減少したことが主な要因であります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて75,680千円減少し、4,917,179千円となりました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて14,588千円減少し、996,301千円となりました。1年以内返済予定の長期借入金が20,400千円、未払法人税等が41,051千円それぞれ減少し、買掛金が10,070千円、その他流動負債が36,792千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて100,002千円減少し、1,949,651千円となりました。長期借入金が92,589千円減少したことが主な要因であります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて114,591千円減少し、2,945,952千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて38,910千円増加し、1,971,227千円となりました。利益剰余金が25,355千円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月13日に公表しました「2021年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の数値に変更はありません。また、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,143,321	1,035,793
売掛金	134,606	143,773
商品	1,019,463	1,054,036
その他	189,179	173,349
貸倒引当金	△1,725	△1,642
流動資産合計	2,484,846	2,405,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	861,634	852,522
その他(純額)	396,201	429,668
有形固定資産合計	1,257,836	1,282,191
無形固定資産	12,872	11,099
投資その他の資産		
差入保証金	528,090	524,560
その他	719,842	704,686
貸倒引当金	△10,628	△10,668
投資その他の資産合計	1,237,304	1,218,578
固定資産合計	2,508,013	2,511,869
資産合計	4,992,860	4,917,179
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	94,474	104,544
1年内返済予定の長期借入金	382,170	361,770
未払法人税等	89,546	48,495
その他	444,699	481,491
流動負債合計	1,010,889	996,301
固定負債		
長期借入金	1,408,542	1,315,953
退職給付に係る負債	13,517	13,581
役員退職慰労引当金	95,791	98,233
資産除去債務	424,225	425,258
その他	107,577	96,624
固定負債合計	2,049,653	1,949,651
負債合計	3,060,543	2,945,952
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	1,376,799	1,402,154
自己株式	△79,471	△79,471
株主資本合計	1,908,342	1,933,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,198	17,810
為替換算調整勘定	△8,383	△2,211
その他の包括利益累計額合計	7,814	15,598
非支配株主持分	16,158	21,930
純資産合計	1,932,316	1,971,227
負債純資産合計	4,992,860	4,917,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	1,988,018	2,228,739
売上原価	707,700	815,854
売上総利益	1,280,317	1,412,884
販売費及び一般管理費	1,287,060	1,277,625
営業利益又は営業損失(△)	△6,742	135,259
営業外収益		
不動産賃貸料	15,444	15,823
受取負担金	-	13,981
その他	6,422	18,932
営業外収益合計	21,866	48,736
営業外費用		
不動産賃貸原価	14,218	14,529
その他	5,711	4,344
営業外費用合計	19,929	18,873
経常利益又は経常損失(△)	△4,805	165,122
特別損失		
固定資産除却損	244	-
店舗閉鎖損失	3,616	3,575
特別損失合計	3,860	3,575
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△8,666	161,547
法人税、住民税及び事業税	6,218	35,893
法人税等調整額	1,181	12,694
法人税等合計	7,400	48,587
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,066	112,960
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,681	5,240
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,385	107,719

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,066	112,960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,135	1,611
為替換算調整勘定	1,137	6,703
その他の包括利益合計	4,273	8,315
四半期包括利益	△11,793	121,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,561	115,503
非支配株主に係る四半期包括利益	767	5,771

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リユース 事業	フードサービス 事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,429,384	531,108	27,526	1,988,018	—	1,988,018
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,429,384	531,108	27,526	1,988,018	—	1,988,018
セグメント利益又は損失 (△)	153,018	△32,246	△19,711	101,061	△107,803	△6,742

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リユース 事業	フードサービス 事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,586,450	573,619	68,668	2,228,739	-	2,228,739
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,586,450	573,619	68,668	2,228,739	-	2,228,739
セグメント利益又は損失 (△)	216,129	43,719	△28,320	231,528	△96,269	135,259

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。